

# 平成30年度「学力・学習状況」検証事業研究成果報告書（概要）

柏市立風早北部小学校

## 「つなげる」学び

～「教えて考えさせる授業」における『つなげる』を意識した研究を通して～

### 学力向上のための取組

#### ① 全国学力・学習状況調査の分析

- 「学力調査丸つけ隊」…加配教員・学習サポーターや担任外の教員が、今年度の全国学力テスト終了後すぐに採点し、結果をまとめ全職員で共有した。

#### ② 全教職員での「教えて考えさせる授業」研修会

- 「全体研修」…毎年転入してくる職員が多数いるので、年度始めに「教えて考えさせる授業」の理論研修や授業づくりのポイントを研修し、理解を深めた。今年度は、東京大学・助教の植阪友理先生を講師に迎え、御指導いただいた。
- 「校内勉強会」…校内で実践校の実際の授業をビデオで視聴しながら、疑問点などについて協議した。
- 「夏休み研修会」…夏休みには東京大学の院生を講師として「意味理解とは…」について研修した。授業研究会の際には、毎回、3～4名の院生も来校し協議会にも参加してもらい、教員とは違う視点での話が、話し合いをより深めている。

#### ③ 環境整備

- 「授業参観掲示板」…積極的に授業公開・参観し合うために、授業案内掲示板を作成
- 「研修成果の掲示」…研修や研究授業の協議会で話し合った内容を、職員室の背面に掲示し、様々な考えを共有した。

#### ④ 1学年ずつの授業研究会

- 今年度から1回の授業研究会は、1学年ずつとした。それにより、準備段階・事前授業・模擬授業・協議会と全教職員で1つのことに絞り、関わる事ができた。

#### ⑤ 授業構想シートの活用

#### ⑥ 協議会の充実

- 本校での「深い理解」とは、「分かっていない相手が納得できる説明ができる」状態と位置付けている。その目指す子どもの姿を実現するために、3点の協議会の柱を設定している。そのため、話し合う視点がはっきりしており、多様な意見の交流がある。また、この柱は授業参観したり、授業を組み立てたりする時の視点にもなっている。

